

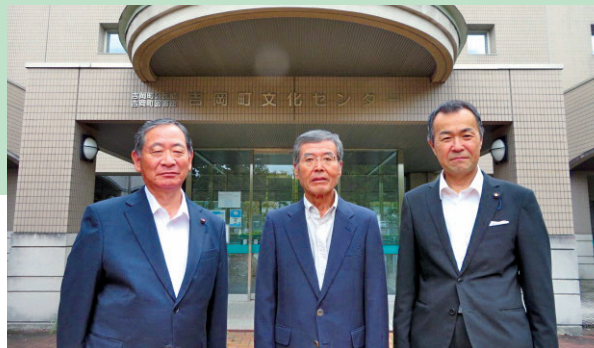
ひと☆人

文化活動は活気ある社会をつくる原動力

吉岡町文化協会 会長

いしくら
石倉

かずもり
一守 さん



インタビュアーの宮内議員・春山議員と

Q文化協会の歴史を教えてください。

A物質万能な時代にこそ、文化活動のもつ情操性が高く評価されるものです。同じ趣味をもち活躍している各種のグループをつなぎ組織化することが、わが村（当時）の文化活動をより振興させる道であるとの考えのもと、昭和52年1月に文化協会は設立されました。

Q普段どのような活動をしているのですか。

A文化団体の育成に力を入れ、地域の芸術文化を高める行事などを開催しています。また、人々の日常生活の中で生み出され、世代を超えて受け継がれてきた形のない伝承である、無形民俗文化保護の普及をはかっています。

Q吉岡町は人口が増加していますが、一緒に活動する仲間を増やすことについて、どのように取り組まれていますか。

A会員の年齢構成をみると、今後の活動は楽観視できない状況です。各団体は新規会員の確保に努めていますが、当町は人口が増えているので、既存団体の加入はもちろん、新規団体を立ち上げて仲間に加わってほしいです。

Q町議会や町政に望むことはありますか。

A40号より文化協会だよりが全戸配布から回覧になります。回覧だと読まれず、見てもらえないなど、多様な情報を目にする機会が奪われてしまうのはとても残念です。また、以前はふるさと祭りに各自治会が参加していましたが、文化活動を普及するには町民の連帯感が必要であり、復活を期待しています。

Q最後に、町民の皆さんに一言お願いします。

A現代はインターネットやスマートフォンの普及により、人と人との繋がりが希薄になってきています。だからこそ文化活動を通じて、人との触れあいや心の豊かさを養えば、活気ある社会をつくる原動力になると思います。各団体お披露目の場である町民文化祭を見て、会員になっていただければと思います。興味のある人は文化協会事務局へご連絡ください。



漆原西音頭保存会の皆さんと



地域で守る無形民俗文化（獅子舞）